

戦争を伝える (原爆と東京大空襲)

ガバナンス研究科 8期 會田 光穂

戦争の伝え方で感じたこと

①日常生活に起きたこととして伝える

原爆資料館展示室に入ってすぐに投下前の街並みの写真
→ 投下後の写真
(われわれと同じような日常生活が一変したことがわかる)



広島平和記念資料館
會田撮影



②連続性

平和大通り、旧広島銀行、袋町小学校…原爆の歴史と現在の広島の都市の連続性を感じられた



會田撮影



③視覚に訴えかける



広島平和記念資
料館會田撮影

その後の感想では賛否両論
海外の人が多く見に来ることも考えると、伝わりやすくて良いのかなと感じた

「シンプルな方がよかった」 意見と同じような話

『手の込んだ、お金のかかった展示物は何もなかった。一つの階に写真や資料が展示されているだけだ。B 2 9 爆撃機の模型。生存者の手記。火災が起こった場所を示す地図。翌朝の町の荒廃をとらえた写真。（中略）そこにあったのは、その夜に起こった出来事の飾らない、率直な記述だった。だからこそ、私は彼らの体験により一層心を揺さぶられたのだ』（マルコム・グラッドウェル著 櫻井祐子訳『ボマーマフィアと東京大空襲 精密爆撃の理想はなぜ潰えたか』光文社 p 8）

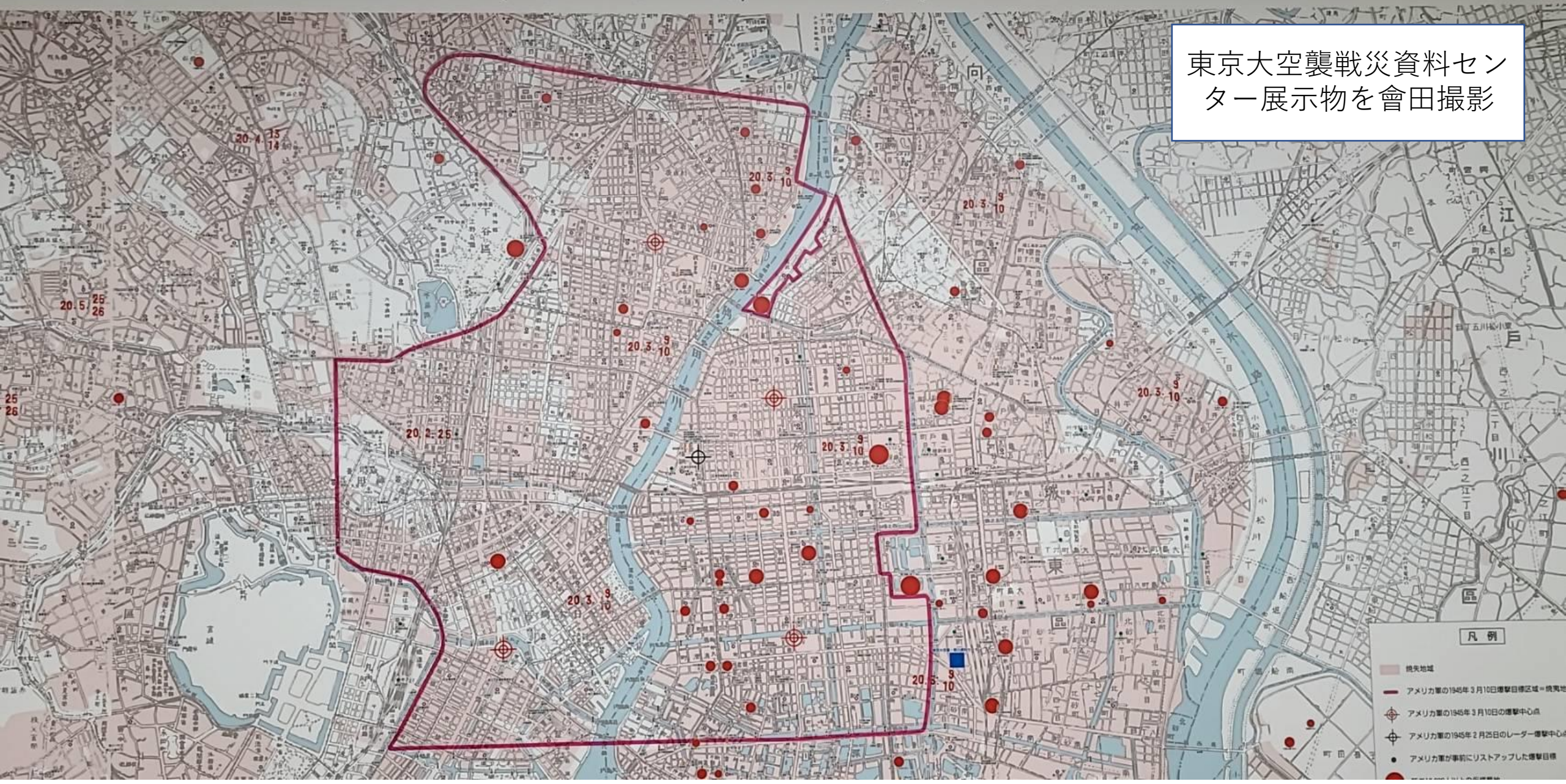


ガイドさんの一言
「東京大空襲も大変なジェ
ノサイドですね、、」

- 原爆資料館はコロナ前の2019年度約135万人が来館
 - コロナ禍で激減したが、G7首脳の前爆資料館も視察の予定であり、改めて世界から知られる場所になっていくことを期待
 - 私たちが訪問した際も外国人含め、たくさんの方が来ていてよかった。
-
- 同2019年度東京都を訪れた外国人旅行者約1500万人のうち、東京大空襲のことを知った人はどれだけいたのだろうか？
 - 江戸だったことを知る機会が多い。しかし、その後、関東大震災・戦災を経て今の東京に至る連続性を感じられる機会は少ない。

東京大空襲被災地図(下町・都心部) 焼失地域・仮埋葬地・慰霊碑

東京大空襲戦災資料セン
ター展示物を會田撮影



東京大空襲

- 1945年3月10日

夜間に低高度から1665トンに上る大量の焼夷弾を投下。

最初に大型の焼夷弾を投下することによる大火災で消火活動をまひ（当時住民は避難してはならず消火活動を訓練されていた）その後小型

の油脂焼夷弾を投下。本所、深川、城東、浅草、神田、日本橋、下谷、荒川、向島、江戸川など下町の広範囲に被害が及ぶ。罹災者100万人、死者約9万5000人

・山の手空襲（4～5月）、城北大空襲（4月13～14日）、蒲田（4月15日）、荏原・品川・大森・目黒・渋谷（5月24日）、都心から杉並区にかけての西部住宅地（5月25～26日）そのほか横浜や多摩地域でも大きな被害あり

区部では60回超、多摩や伊豆諸島小笠原を含むと100回を超える

（東京大空襲・戦災資料センターホームページ参照）

東京大空襲戦災資料センター

東京大空襲戦災資料センター展示物を會田撮影



コロナの今こそ「忘れず、黙らず」東京大空襲・戦災資料センターの館長が語り継ぐ東京大空襲 | 東京都の戦跡 薄れる戦争の記憶 NHK **NHK**2020年10月5日

https://www3.nhk.or.jp/news/special/senseki/article_104.html

『頓挫した「平和祈念館構想」』

早乙女さんが当初期待していたのが、**1990**年代に東京都が計画していた「**平和祈念館**」でした。**2001**年度の開館予定でしたが、展示内容や立地場所をめぐって都議会で議論が紛糾し、計画は頓挫しました。収集した資料は**5000**点余りで、そのほかに**330**人の空襲体験者の証言映像もあります。一部は時おり公開されていますが、それ以外のほとんどは今も倉庫に眠り続けています。』

「平和資料館、東京にも」

「折り鶴署名」添え市民ら知事に要望

広島、長崎や沖縄にあるよ

要望書を手渡した。

うな平和資料館をぜひ東京に
— 九日、「再び許すな東京
大空襲／反戦平和の集い実行
委員会」（東京大空襲を記録
する会など市民団体や労働組
合などで構成）のメンバー
が、「折り鶴署名」を携えて
都庁を訪れ、鈴木知事あての
要望書を提出した。

橋本さんらは「資料が散逸
してしまいう前に、都で独自に
収集に乗り出すくらいの熱意
がほしい」などと訴えた。

「折り鶴署名」は、「東京
を平和の町に」「平和きねん
かんをたてて下さい……鈴木
俊一都知事さま」などと印刷
された折り紙で作られ、折っ
た人の住所、名前入り。同実
行委が昨年三月から集め始
め、現在までに約三十万羽に
達している。

午前十時半、江東区森下の
主婦、橋本代志子さん（六三）や
都戦災障害者の会会長の小幡
誠武さん（七四）ら同実行委代表
十一人が、森本公昭・都生活
文化局コミュニティ文化部長
に、「折り鶴署名」の一部と

3月10日読売新聞

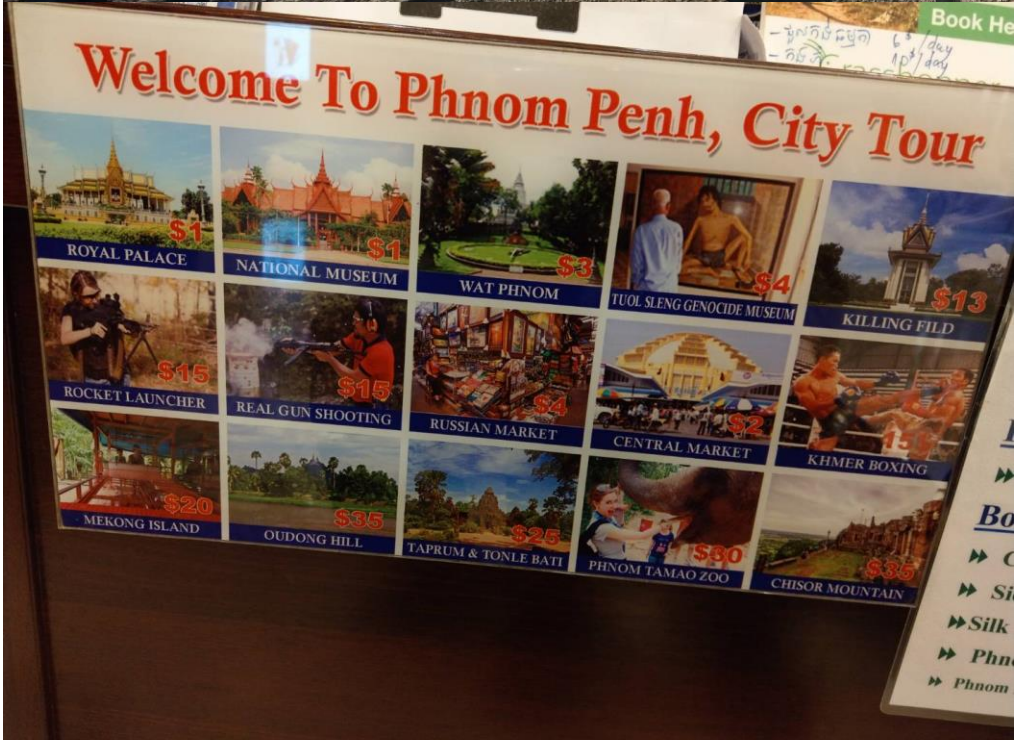
3月11日毎日新聞



東京大空襲被災四〇周年
平和祈念館の建設を！

路地裏平和のネットワーク

路地裏平和のネットワーク
平和祈念館の建設を！



負の遺産は観光客が知るべき
ものでもある（アウシュビッツ、
ワルシャワ、プノンペン
でそれぞれ會田撮影）

東京都復興記念館展
示物を會田撮影



戦災展示コーナー

War Damage Exhibition

はじめに

東京都復興記念館には興
味深い写真複数あり
(関東大震災が主なので
展示スペースは少ない)



政治色が強いものではなく、東京にいる人&東京を訪れる人が「都市に起こったこと」を知る機会や場が必要ではないか



會田撮影



街中の戦災跡地をめぐるパンフレットなどはすぐできそうである。
やはり「見ごたえのある施設」が本来はあ
ると良い。



元

足元墨田を考えるきっかけにもなりました
ありがとうございました！